



ドライアイや涙道閉塞など涙目治療に尽力 親切・丁寧・真心を込めた医療を提供

涙目の治療に力を注ぐ大谷院長は「涙道閉塞はTS-1という抗がん剤を使用すると起こしやすいので、抗がん剤治療前に涙管チューブを挿入することで予防が可能です。チューブは治療後に抜けば良いだけなので、抗がん剤治療を受けられる予定のある方はぜひご相談ください」と話す。さらに涙目の原因にもなる逆さまつ毛のレーザー脱毛治療もっており、毎月逆さまつ毛を抜くのが大変という人にはお勧め



① JR新札幌駅と地下鉄新さっぽろ駅と直結するメディカルビル3階の好立地。大型駐車場も隣接し、利便性も良く、待合室も広くゆったりと快適に過ごせると評判

医療法人社団彩光会グループ（本院・札幌かとう眼科札幌市東区）の一員として、2022年8月に開院した、新札幌おおたに眼科。「患者さんの話をしっかりと聞き、患者さんのニーズに合った治療を提供することで、患者さんが満足し喜んでいただけるように、親切・丁寧・真心を込めた医療」を心掛けていきます」と話す大谷真一院長。大学病院をはじめ道内の主要総合病院での豊富な診療経験を持ち、眼科診療全般に精通。特に力を入れているのが涙目の治療で、原因となるドライアイや、涙の通り道（涙道）が詰まる涙道閉塞の治療を得意とする。

ドライアイの治療は一般的な点眼治療のほか、目の表面の油分を増やすためのマイボーム腺のケアや、マイボーム腺圧出治療、IPL光治療（自由診療）にも対応。涙道閉塞に対しては、詰まった涙道を開通させる内視鏡治療の涙管チューブ挿入術や、本院の加藤祐司院長が得意とする涙のう鼻腔吻合術など、札幌市内でも数少ない専門的な治療も行っている。

また白内障手術にも力を入れ、両目同時の日帰り手術をはじめ、多焦点（選定療養）や乱視矯正などの眼内レンズも幅広い選択肢を用意。顕微鏡をのぞかず専用眼鏡を装着し、大型モニターに映し出した3D画像を見ながら手術を行う最新鋭の手術設備も導入。必要最小限の明るさでの手術が可能で、患者が感じるまぶしさも軽減。術中リアルタイムで切開部分がモニターに表示されるなどの手術支援システムも搭載され、より精度の高い手術を提供。このほか子ども近視矯正治療のオルソケラトロジーやマイオピン点眼治療（共に自由診療）も行っている。

「子どもから高齢の方まで、目でお困りの事があれば、何でも気軽にご相談ください」（大谷院長）



院長 大谷 真一氏
旭川医科大学卒業。同大眼科医局入局、関連病院勤務。医療法人社団彩光会札幌かとう眼科、えにわ眼科を経て、2022年8月新札幌おおたに眼科院長就任。日本眼科学会認定眼科専門医ほか



医師 水島 由紀子氏
筑波大学医学専門学群卒業。同大学眼科及び茨城県内の関連病院勤務を経て、2017年より現職。日本眼科学会認定眼科専門医、日本白内障屈折矯正手術学会所属



医師 高橋 智恵氏
旭川医科大学病院卒業。同大学眼科及び旭川、札幌の関連病院勤務。JCHO北海道病院勤務を経て、2022年より現職。日本眼科学会認定眼科専門医

眼科

医療法人社団 彩光会

新札幌おおたに眼科

📞011-801-7216

札幌市厚別区厚別中央1条6丁目2-1 D-スクエア3階
<https://www.katoganka.jp/otani/>

診療時間/
平日 9:00~12:00 14:00~17:00
土曜 9:00~12:00
休診日/日曜・祝日
最寄りアクセス/
JR新札幌駅、および地下鉄東西線新さっぽろ駅10番出口から徒歩5分
※屋内空中歩廊(アクティブリンク)直結